

「CSR地域対話集会」および 双方向コミュニケーション紙「にしき」を通じた、 地域との継続的なコミュニケーション



発表内容

1. 会社概要
2. 地域社会とのコミュニケーション
3. CSR地域対話集会
4. 双方向コミュニケーション紙「にしき」

統計資料については、当社のCSRレポートをご覧ください。
<http://www.kureha.co.jp/csr/report.html>

KUREHA

1. 会社概要

社名：株式会社クレハ
 本社：東京都中央区日本橋浜町
 創立：1944年6月21日
 資本金：181億7千万円
 売上高：1,473億円(連結)(2017年度)
 営業利益：130億円(連結)(2017年度)
 事業概要：機能製品、化学製品、
 樹脂製品、建設関連、
 他（環境関連、運輸・倉庫など）
 グループ会社：34社（国内19社、海外15社）
 従業員数：4,374名（単体：1,835名）



どこにも無ければ、
創ればいい。
ナケレバ、ツクレバ。

2018年3月31日現在

KUREHA

1. 会社概要

クレハ いわき事業所

株式会社クレハ

所在地：福島県いわき市錦町



1) 事業所敷地面積

約112万m²

2) 従業員数

約1100名

3) 製造品目

約100品目

基礎化学品製造部

医薬品製造部

合成樹脂製造部

機能材製造部

炭素製品製造部

技術センター

技能研修センター

間接部門

研究所

KUREHA

2. 地域社会とのコミュニケーション 共存のはじまり

株式会社クレハ

1934年(昭和9年)に錦村の金成村長をはじめとする地域の皆様に誘致していただき誕生しました。



■写真 1-3-26 錦村議会議員 前列中央(洋服姿)が金成欽次村長。〔昭和9年(1934)頃 『呉羽化学五十年史』から転載〕

共存の道のはじまりです

KUREHA

2. 地域社会とのコミュニケーション クレハのRCのはじまり

株式会社クレハ

1995年 日本レスポンシブル・ケア協議会
(日本化学工業協会内に設立)



同年 クレハ
「レスポンシブル・ケア実施宣言」

KUREHA

5

2. 地域社会とのコミュニケーション いわき事業所周辺

株式会社クレハ



6

6

2. 地域社会とのコミュニケーション

株式会社クレハ

近隣小学校への
理科授業支援
(12月)
社会科見学の実施
(11月)

清掃ボランティア活動
R289清掃(6月、10月)
蛭田川清掃(10月)

お祭りへの参加
いわきおどり
四時ダム祭り
八坂神社例祭
熊野神社例祭
(7月～8月)

事業所見学
(通年)

地域との共生

双方向
コミュニケーション紙
「にしき」の発行
(1月、5月、9月)

CSR地域対話集会
の開催(11月末)

クレハ
グラウンドの
開放(通年)

スポーツ
フェスティバル
の開催
(9月末)

KUREHA

7

3. CSR地域対話集会

株式会社クレハ

① CSR地域対話集会

1回/年

地域の皆様（行政機関、地域団体、地区役員、近隣企業、弊社グループ関係者）約100名をいわき事業所に招き、当社CSR活動の報告と、参加者からのご意見、ご質問にお答えしています。



2017年11月29日

第15回 CSR地域対話集会

KUREHA

8

3. CSR地域対話集会

株式会社クレハ

2003年第1回のRC地域説明会の開催にいたるまで！

弊社の環境対策、保安防災対策を公表する。



地域の皆様が安心して、生活ができる。

どうすればいいのかな??

コンビナート地帯の地域対話集会の見学
リスクコミュニケーション研修会の参加
参考書、ハンドブックを活用

1 社単独で開催するための検討

➡ 1 社単独でのRC地域説明会の開催へ

KUREHA

9

3. CSR地域対話集会 第1回RC地域説明会

株式会社クレハ



<キーワード>

- ①RCとは何か?
- ②環境負荷の低減に対する取り組み
- ③保安防災・労働安全に対する取り組み
- ④地域の皆様とのコミュニケーション
に対する取り組み

アンケートの結果：87%が「理解できた」と回答



KUREHA

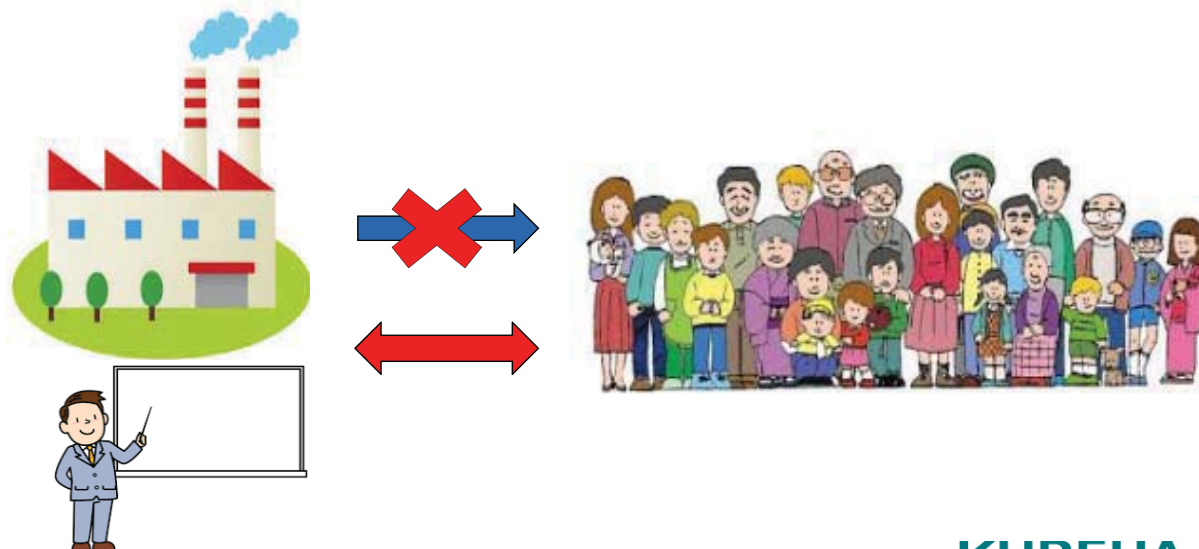
10

3. CSR地域対話集会 RC地域対話集会へ

株式会社クレハ

RC地域対話集会 (2004年第2回～2009年第7回)

「地域説明会」から「**地域対話集会**」へ名称変更。



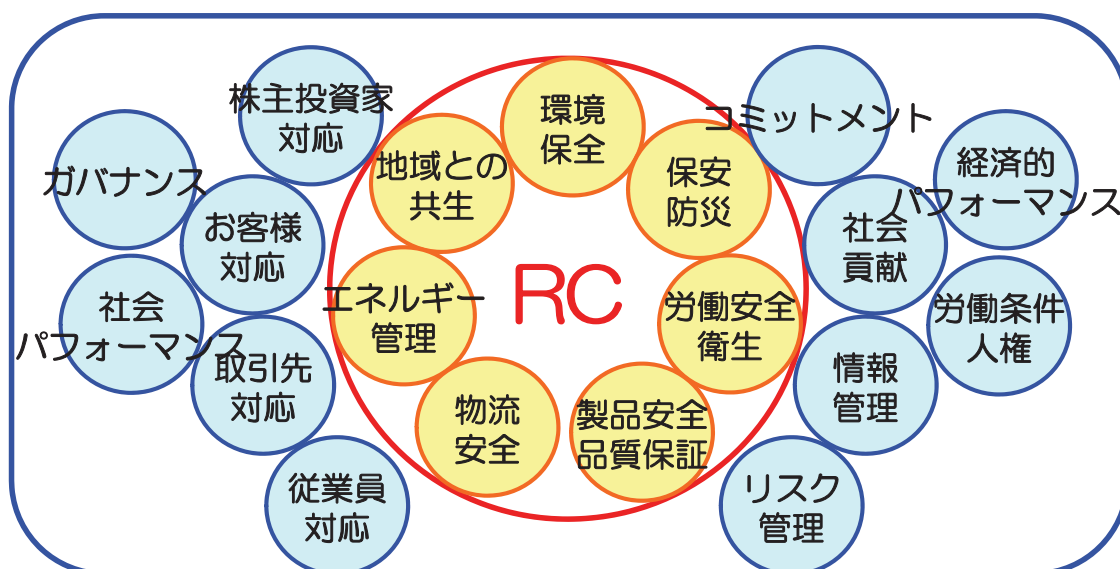
KUREHA

3. CSR地域対話集会 CSR地域対話集会へ

株式会社クレハ

CSR地域対話集会 (2010年第8回～)

CSR (企業の社会的責任)

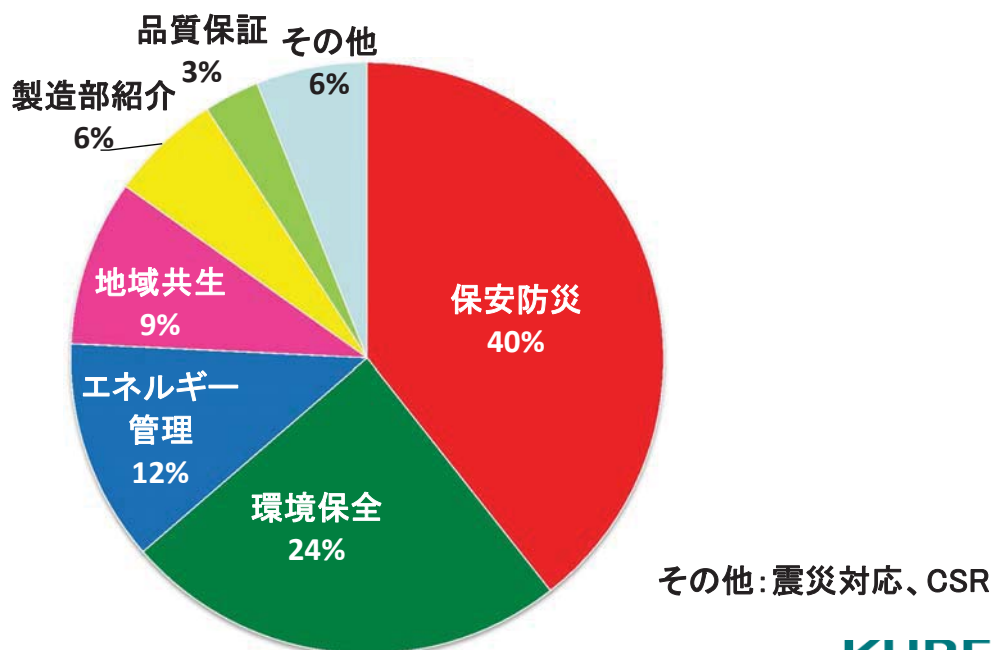


KUREHA

3. CSR地域対話集会 地域対話集会 発信内容

株式会社クレハ

第15回までの発信内容のテーマ別比率



KUREHA

13

3. CSR地域対話集会 グループ会社の発信(第3回～)

株式会社クレハ

開催回	開催年	発信グループ会社
第3回	2005	クレハ環境・クレハエンジニアリング
第4回	2006	クレハ環境・クレハ分析センター
第5回	2007	クレハ環境・クレハ運輸
第6回	2008	社団医療法人呉羽会
第7回	2009	クレハ環境・クレハ錦建設
第8回	2010	クレハ分析センター
第9回	2011	社団医療法人呉羽会
第10回	2012	-
第11回	2013	クレハ環境
第12回	2014	クレハ環境・さんしゃいんクレハ
第13回	2015	クレハ環境・社団医療法人呉羽会
第14回	2016	クレハ環境・クレハ錦建設
第15回	2017	クレハ環境・さんしゃいんクレハ

KUREHA

14

3. CSR地域対話集会

発信事例 1. 化学物質排出削減対策

株式会社クレハ



活性炭吸着
回収装置



燃焼除去装置



圧縮冷却
回収装置



燃焼除去装置
KUREHA

3. CSR地域対話集会

発信事例 4. 保安防災強化

株式会社クレハ

事業所における保安防災

第13回 保安防災発表項目 (2015年)

① 総合防災訓練

大規模災害や事故を想定した事業所全体の訓練。



2015年11月6日に福島県沖震源の震度6弱の地震発生を想定して実施。

3. CSR地域対話集会 発信事例4. 保安防災強化

株式会社クレハ

事業所における保安防災

第13回 保安防災発表項目 (2015年)

③公設消防隊との合同訓練

いわき事業所常設防備隊といわき市消防本部の合同で泡消火剤放射訓練を実施。



合計49名で実施。
化学消防車や各種発泡器等の資機材の取り扱いを確認し、緊急時の対応力向上を図った。

KUREHA

3. CSR地域対話集会 発信事例6. 東日本震災被害状況

株式会社クレハ

【いわき事業所内の被害箇所】



製品荷崩れ

アンカーボルト抜け



KUREHA

3. CSR地域対話集会

発信事例6. 東日本震災被災者支援

株式会社クレハ



義援金のお届け



第9回 震災対応発表項目
(2011年)

支援物資の調達・提供



震災復興協力ボランティア



入浴施設の提供

KUREHA

3. CSR地域対話集会

発信事例6. 東日本震災被災者支援

株式会社クレハ

地域復興への取り組み

災害廃棄物の処理

第15回 震災対応発表項目 (2017年)
株式会社クレハ環境

東日本大震災により発生したガレキ等の災害廃棄物の処理を、
2015年3月31日までに完了しました。

《勿来市民運動場》



仮置き場の様子



撤去後

KUREHA

3. CSR地域対話集会

発信事例7. (株)さんしゃいんクレハ

株式会社クレハ

＜ 共生社会の実現に向けて ＞ 第12回 CSR発表項目(2014年)

障がいのある方の社会参加および
自立支援を目的として設立しました。

設立 : 2014年6月10日

従業員数 : 20名 (2017年3月現在)

業務内容 : クレハから委託される事務代行業務

(各種データ入力、
古紙再生・印刷、
ノート作成、名刺作成など)



KUREHA

3. CSR地域対話集会

CSR地域対話集会後の会社ご視察

株式会社クレハ

第15回 CSR発表項目(2016年)



(株)さんしゃいん クレハ
のご視察

KUREHA

3. CSR地域対話集会 会場での名札の着用

株式会社クレハ



ご紹介者様や会社側の
すべての人が名札を
つけることで、
会話がしやすくなる。

KUREHA

23

3. CSR地域対話集会 休憩時間のふれあい

株式会社クレハ



掲示板によりCSR活動の紹介



24

3. CSR地域対話集会 地域対話集会の実施に当たって

株式会社クレハ

◇ 気を付けている点 ◇

1. 企業も地域社会の一員。
2. 事業所のトップも直接対話する。
3. ネガティブな情報も積極的に開示する。
4. 写真や図を活用し、わかりやすい言葉で説明する。
5. タイムリーな話題を心がける。
6. プログラムは、地域の方の意見を参考にする。
7. 質問・意見は、紙への記述によって受け付ける。
8. 質問には、その場で答える。
9. 日頃のお付き合いも大切。

KUREHA

4. 双方向コミュニケーション紙『にしき』

株式会社クレハ

双方向コミュニケーション紙『にしき』とは

クレハグループのRCを含めたCSR活動の情報発信と地域の皆様の活動やご意見等の紹介を目的とした双方向コミュニケーション紙を発行しています。



表面



裏面

創刊号
2002年8月1日

KUREHA

4. 双方向コミュニケーション紙『にしき』

株式会社クレハ

概要

- 発信期間
2002年～継続
- 発信頻度
年3回定期発行
- 形式 A3版2ページ
カラー
- 発行部数 5,000部
- 配付先 周辺地区住民、
行政、従業員
- 発行者
(株)クレハ いわき事業所



KUREHA

4. 双方向コミュニケーション紙『にしき』

株式会社クレハ

『にしき』というの名前の由来



本紙

『にしき』の由来

当社錦工場の名前は昭和9年、昭和人絹(株)の一工場として建設された時に、錦村との共存共栄を願って名づけられました。その後、社名は何度か変わっても（呉羽化学の社名は昭和19年から）、「錦村との共存共栄の精神」と共に、錦工場の名前は今日まで受け継がれてきました。私達は、これからも周辺地域の方々との共存共栄の精神を守り続けるため、本紙がその礎となることを願って「にしき」と名づけました。

KUREHA

4. 双方向コミュニケーション紙『にしき』 「にしき」のおもて面

株式会社クレハ



KUREHA

4. 双方向コミュニケーション紙『にしき』 「にしき」の発信事例（おもて面）

株式会社クレハ

地域との対話に関する発信事例①



第25号 第10回スポーツフェスティバル(2010年10月)

KUREHA

4. 双方向コミュニケーション紙『にしき』 「にしき」の発信事例（おもて面）

株式会社クレハ

地域との対話に関する発信事例②

第10回を迎えたスポーツフェスティバルの開催、誠にありがとうございました。5名も参加させて頂きました。準備体後後のウルトラライズに始まり、記念の烟花火、最後の大抽選会まで、社員の皆様との親睦と地域住民との融和が見事に発揮された種目の内容で、とても楽しい一日を過ごさせて頂きました。大高地区はクレハには日頃から大変お世話になっております。特に平成13年にご提供頂きました「ふれあい広場」は10周年を迎えますが、毎年7月、交互に開催する「地区交流運動会」と「ふれあいスポーツ大会」での活用はもとより、日頃は子供会のゴルフボール、グラウンドゴルフ等で地区の「ふれあい」を深めております。こうした恵まれた環境で自治会活動が出来ますことにも感謝申し上げます。心からご支援、ご協力を宜しくお願い致します。



大高地区 区長 遠藤 政博 様

「招待者の中から」

第10回
オールクレハ
スポーツフェス
ティバル
参加者の声
第25号
(2010年10月)



上中田防犯協会 会員 古田 正之 様

10月3日秋晴れのすばらしい朝を迎えました。運動会は天候よければ、80%成功したようなものです。昨日までの垂れ込めた空模様は不安で一杯でした。特に実行委員の皆様はさぞかし気がもめたことと思えます。このスポーツフェスティバルには第1回から参加させていただいておりますが、毎回地域の住民と共に開催するという精神がひしひしと伝わってきます。私共高齢者は運動会というところには苦手で、観ることは苦手で、観ることも、応援することが主役です。「運動会、出席は一つ宝拾い」しかし、クレハの運動会においては「ウルトラライズ」「玉入れ」「宝拾い」と地域の高齢者に配慮したプログラムが組んであり、出席に違和感がなく和気あいあい、ほとんどの人が3〜4種目に出場し話はずみです。特に「掃選会」には地区の区長を抽選者にという細かい配慮、まさに企業と地域が一体となっているという喜びを感じます。今後とも共存共栄の精神で益々の発展をご祈念申し上げます。お礼の言葉といたします。「運動会、地域と共に腕を組み、オールクレハの秋の一日」



須能事業所長より特別賞「レガザ」ブルーレイレコーダーを受取る緑川さん

植田小学校女子Aチームで小学生リレーに参加しました。小体連の時はリレーチームにも入れなかつたのでAチームとして参加した事がうれしかったです。でも、3位になり、くやしい思いをしました。抽選の時には、自分の名前が呼ばれるとは思わなかつたので、何度も聞きなおして、「エッ」と思い、信じられませんでした。初めは良い方ではないので、初めての事に、自分より周りの友人や先生が喜んでる姿をみて、「当たったんだ」と思いました。来年は中学生で参加したいと思えます。ありがとうございます。



植田小学校 6年 緑川 有紗さん

「大抽選会」
第10回記念特別賞「受賞」

KUREHA

4. 双方向コミュニケーション紙『にしき』 「にしき」の発信事例（うら面上部）

株式会社クレハ

環境対策に関する発信事例

臭いの監視装置



工場の敷地境界で臭気の有無を常時監視!!

錦工場の敷地境界には臭いの発生を感知する『臭気センサー』と呼ばれる装置が取り付けられています。この『臭気センサー』は、錦工場の周囲12箇所に設置され、臭気を連続的に監視しています。

左の写真が『臭気センサー』の外観です。赤枠で囲まれた部分が臭いを感知する装置(センサー)になっています。センサーは地上約2mの高さに設置されています。このセンサーで臭いが感知されると、青枠の部分で自動で動き出し、臭いのする空気を専用の袋に採取します。この動作と同時に保安室にある監視装置に異常警報を発信するようになっています。この異常警報が鳴った時には、保安室員は臭いを感知した『臭気センサー』のところに急行し、自分の『鼻』で臭いの種類(どのような臭いか)を確認します。この『臭気センサー』は臭いの有無を感知するだけでなく、臭いの種類(どのような臭い(焦げ臭い、甘い、温泉の臭い))も『臭気センサー』で採取した空気を後処理装置で分析し、臭いの発生を抑制する対策に反映させています。

第9号(2005年5月)

臭気除去装置



お問合せは
63-5111
総務部へ

右の写真は、『臭気センサー』から得られた情報を元に設置された臭気除去装置の1例です。臭いを発生させる設備からの排ガスを水で洗浄する設備、および排ガスを燃焼させる設備を設置しました。この設備の導入により、臭いの発生が抑えられ、『臭気センサー』の作動回数が激減しました。今後も地域の皆さんからの臭いに関する情報や『臭気センサー』等を活用し、臭いの発生防止に力を入れていきます。

KUREHA

4. 双方向コミュニケーション紙『にしき』 「にしき」のうら面

株式会社クレハ



KUREHA

4. 双方向コミュニケーション紙『にしき』 「にしき」の作成にあたって

株式会社クレハ

◇ 気を付けている点 ◇

1. 文字は大きく、見やすく。
2. 簡単なことばで表現する。
3. ネガティブな情報も積極的に開示する。
4. 写真や図を活用し、わかりやすく表示する。
5. タイムリーな話題を心がける。
6. 地域の方にも参加いただく。
7. 地域の皆様と直接お会いして話を伺う。
8. 日頃のお付き合いも大切にする。

KUREHA

